

文章題 準備のステップ 要旨

ステップ 5 [文章題での授業で、一般化され問題の核心を捉えた「めあて」と「まとめ」による学習]

ステップ 4 [文章題以外の教材での授業で、一般化され問題の核心を捉えた「めあて」と「まとめ」による学習]

(例) 3年「 12×4 」の問題における
一般化され問題の核心を捉えた「めあて」
(一のくらいが0でない2けたの数) \times (1けたの数) の計算のしかたを考えよう。
一般化された「まとめ」
かけられる数をくらいごとに分けてかけると、いつでもかんたんにできる。

ステップ 3 [文章題以外の教材での授業で、一般化されてはいるが問題の核心を捉えていない「めあて」と「まとめ」による学習]

(例) 3年「 12×4 」の問題における
一般化されてはいるが問題の核心を捉えていない「めあて」
(2けたの数) \times (1けたの数) の計算のしかたを考えよう。
一般化された「まとめ」
かけられる数をくらいごとに分けてかけると、いつでもかんたんにできる。

ステップ 2 [文章題以外の教材での授業で、問題をそのまま「めあて」として、「まとめ」のみ一般化している学習]

(例) 3年「 12×4 」の問題における
「めあて」
 12×4 の計算のしかたを考えよう。
(一般化された解決(まとめ)を得るための「めあて」を目指していない。)
一般化された「まとめ」
「かけられる数をくらいごとに分けてかけると、いつでもかんたんにできる。」

ステップ 1 [全ての教材での授業で、問題を解くだけで「めあて」も「まとめ」もない学習]